

平成23年5月18日（水）10:00～12:00

熊本市役所 10階会議室

委員からの意見等

1 助成のしくみについて

座 長 既存の助成制度を受けられる団体の取り扱い、スタートアップ助成（設立したばかりの団体への手厚い支援のしくみ）、一般寄附ではなくその他の寄附と言うものを作り、幅広い運用をするなど、熊本市ならではのしくみを作ると言うことで議論していきたい。

(1) 事前の団体登録の有無

宮津委員 登録に際し必要な書類の中に「定款」があるが、設立1年未満の団体などは、もっていない場合が多い。

登録にあたり作成する場合、作成例を提示されるかと思うがあまり難しい内容だと、作成を断念し登録を諦めるケースが懸念されるので考慮してほしい。

水野委員 宮津委員と同一意見である。

同じ「思い」で集まって形成された団体も多く、「定款」を作成した事により、活動に制限がされると思い、団体が動きにくくなるのでは。

平林委員 寄附する側は、きちんとした団体への助成を行ってほしいと思うのが当然である。

助成する団体によっては、企業にとってマイナスイメージを与える場合もある。

なので、登録の手続きは緩やかに、助成の決定については厳しくしてはどうだろうか。

座 長 「定款」と言うと難しく思われる。

「規約・会則・定款」の順で表記したほうがいいのか。

(2) 助成の対象となる団体

宮津委員 自治会等地域団体は他の補助金のメニューが沢山あり、「△」が妥当と思われるが、NPO との協働事業なども考えられるため、助成の決定に関わる審査を十分に行い判断すべきと思う。

宮本委員 今回の基金はできるだけ、NPO への助成を優先してほしい。

座 長 政令指定都市になり、行政区の中でいくつかの校区自治協議会が連携・協力した多様な活動も出てくると思う。

「既存補助金の対象と重複するものは対象外」とし、「広域的・独創的な取り組みは対象」としてはどうか。また、助成できる事例モデル等を示した方がわかりやすい。

(3) 助成の種類

水野委員 団体指定で寄附があった場合、登録団体でない場合はどうするのか。

→事務局回答

団体へ、対象となる事業を行っているのかを問い合わせる。行っている場合は助成の対象となるが、行っていない場合の対処については、今後検討させていただきたい。

座 長 活動内容の分類は、あいぽーとが実施している分類（「その他」を含めて6種）でよろしいか。（全員了承）

(4) 助成額の範囲

座 長 事業費の1／2を団体が負担することは、団体が担う責任の観点から適切と思われる。

落合委員 複数年度の事業の場合の取り扱いはどうするのか。

→事務局回答

単年度を原則とする。内容を年度毎に審査し、OKであれば助成を行う。

宮津委員 スタートアップ助成の対象となる団体は、資金力がないので対象額を事業費の1／2ではなく2／3にしてもらいたい。

座 長 スタートアップ助成は目玉なので、助成額は10万円、負担割合は2／3まで上げてはどうか。

(5) 助成の対象となる事業と経費

宮本委員 分野別助成において、連続しての助成は3年とあるが、その後、数年おけば再度助成を受ける事ができるのか。

→事務局回答

再度、審査を行う事になる。

水野委員 ずっと前からあった団体で、いままで受けたことのない団体への助成も検討してほしい。

宮津委員 スタートアップ助成の条件である「3年未満」をもっと広げる事はできないか。

座 長 例えば5年未満に拡大すると、団体の大部分が該当するようになり、スタートアップの意味が無くなってしまうので、

「3年未満」という制限は適当と思われる。

長期活動の団体への助成については、分野指定の助成で申請をしていただき、審査の中で企画内容・新規性・期待性などを考慮して判断すればいいのではないかと思います。

また、助成制度を周知するために、行政からの情報提供のしかたも工夫をしていかなければならないのではと思う。

(6) 助成の対象経費の費目

平林委員 無償の労務費は個人所得にはならないのか？

→事務局回答

他都市の状況を確認する。

座 長 助成の限度額との兼ね合いで、無償の労務費の取り扱いについて、再度、検討を行ってほしい。

(7) 審査会委員の選考・審査会の設置

座 長 審査会を設置するという事でよろしいか。(全員了承)

(8) 助成事業選考基準の作成・設定について

座 長 審査項目はわかりやすく5項目程度に精選してほしい。

(9) 審査の方法について

座 長 NPOはPRする機会を求めており、他団体との交流を持つことはとても重要。審査方法は書類審査で良いと思われるが、その後の報告会など交流に関する支援をお願いしたい。

平林委員 寄附を行う側の意見を聞いてはどうか。

→事務局回答

検討をする。

座 長 団体指定、スタートアップは書類審査で、分野別指定は書類審査と公開プレゼンテーションでよろしいか。(全員了承)

(10) 事業申請時期及び事業期間

水野委員 前年度に審査を行う事により、事業にまる1年費やす事ができるので、とても良いスケジュールだと思われる。申請は年1回で十分と思う。(全員了承)

2 寄附のしくみについて

(1) 寄附の種類

座 長 提案のとおりでよろしいか。(全員了承)

(2) 簡単な事務手続き

座 長 次回検討会議の議題である「運営のしくみ」と一緒に検討できたらと思うがいかがか。(全員了承)

(3) 事業報告会の実施について

水野委員 あいぽーと文化祭など他のイベントとの共催にしてみてはどうか。

座 長 本助成事業に関する広報・啓発の意味も含め、よろしいのではないか。